

# 事業報告書

第 17 期 (2018 年度)

自 2018 年 4 月 1 日

至 2019 年 3 月 31 日

京都市中京区六角通新町西入西六角町 101 番地

認定特定非営利活動法人 リボン・京都

## 第17期（2018年度）事業報告

認定特定非営利活動法人リボン・京都  
理事長 小玉 昌代

ルワンダとのフェアトレード作品がパリの店でパリジェンヌが3着購入したと報告がありました。これは元当会のメンバーで洋裁専門家としてイエメンの生活困窮者の女性たちに洋裁指導に派遣した長坂美由紀氏がボランティアでその橋渡しの労を取ってくださいました。彼女は現在パリでデザイナーとして活躍中でパリと日本を行き来され、当会にも立ち寄り指導していただいています。またルワンダの洋裁訓練修了生にフランスから縫製の注文が来るよう働きかけて頂いています。

5月の例年の高島屋のチャリティバザーの売り場が確保できず、蛸薬師通のABCafeを3日間お借りし、バザーを開催いたしました。

パリで当会の作品が販売されたことを京都新聞が掲載してくださり、売り上げも増し喜んでいきます。

ラオスのサバナケート職業訓練校のフェアトレードとフォローアップトレーニングは順調につづいています。分校のセポン校は本校から200キロ離れた山岳地帯にあり、11月にインターンの脇広奈と視察にまいりましたが、本校の先生が出張して訓練していましたが訓練生の人数が多く、洋裁技術を習得して収入を得たい女性たちが大勢いることがわかりました。セポン校ばかりでなく訓練校に行けない山岳地帯の女性にワークショップを開きたいと思っています。

日本外務省のNGO無償支援資金がおりラオスのMOUの認可がおりれば9月から事業を実施したいと思っています。

引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

## I. 事業の実施に関する事項

### 1. 特定非営利活動に係る事業

#### (1) 洋裁指導事業

##### ① 視察事業

実施期間	2018年11月2日～2018年11月9日		
実施場所	ラオス国サバナケート県 県立職業訓練校本校及びセポン分校洋裁科		
対象者	本校及びセポン分校の校長、教師、洋裁科の生徒		
従事者人数	事業従事者4名（国内2名、現地スタッフ2名）		
助成金額	-	助成元	-
支出額	425,990円		
事業内容	2007年に洋裁科設立から支援を継続しているサバナケート職業訓練校本校、及び2017年に設立されたセポン分校を視察し、2019年度に申請を検討している日本NGO連携無償資金協力を申請するための情報収集を行った。		
成果	サバナケート職業訓練校の洋裁科の生徒は当初の30名から視察時には99名にまで増え、工業用ミシンを増やし洋裁科は発展している様子が見られた。サバナケート職業訓練校で指導した当時の生徒のうち2名が、現在は先生としてセポン分校に派遣され指導を行っていた。 2019年度には日本外務省NGO連携無償資金協力事業に申請を行い、セポン地域の女性の収入向上のためセポン校にて洋裁技術訓練を実施する予定である。MOUをサバナケート職業訓練校に送り返事を待っている状況で、返送された後申請を進め、秋には事業を実施の予定である。		

##### ② 環境保全活動事業（洋裁指導教材として活用）

実施期間	2019年1月～2月期間限定		
実施場所	リボン・京都 日本事務局（G&Gビル 久保方5F）		
対象者	日本全国の着物保有者		
従事者人数	国内作業従事者5名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	120,000円（保管料）		
事業内容	不要になった古着物の寄贈を募ることで、廃棄の際に輩出されるCO2軽減に貢献し、環境に配慮する。寄贈された着物は、種類別に仕分け保管し、必要に応じて選び出し、海外事業地での洋裁指導教材として活用。		

**成果**

会誌、イベントを通じて古着物の寄贈を呼びかけ、全国から多くの着物が届いた。保管場所不足の為、今年も受付期間（1月と2月）を設けた。着物保管料として3,000円（段ボール1箱につき）の寄付をお願いした。寄付をされた方々へ御礼状送付時に当会パンフレットと会誌を同封することで当会の活動を紹介した。

期間内で67件、年間通して92件、合計1,417点の着物および小物が寄贈された。

<2018年度 着物寄贈状況> ( )内は前年比較の数字

寄付者述べ人数：92名

○着物	402点 (+85)	○喪服	51点 (+2)
○夏着物(浴衣含む)	44点 (-30)	○喪服帯	51点 (+27)
○羽織	168点 (+9)	○男物	47点 (+16)
○帯	241点 (+91)	○子供	12点 (+8)
○襦袢	61点 (+12)	○その他(反物含む)	254点 (+174)
○コート	86点 (+14)		
		合計	1,417点 (+408)

## (2) フェアトレード事業

### ① ルワンダ訓練修了生有志グループとのフェアトレード事業とフォローアップトレーニング

実施期間	2019年1月		
実施場所	ルワンダ共和国キガリ市 ガチュリロ職業訓練センター		
対象者	同校洋裁科修了生3名		
従事者人数	事業従事者3名 国内作業従事者27名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	179,584円 (仕立て代は2019年度に計上)		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者が、習得した技術を維持・向上させ、安定した収入を得られるよう、当会より材料を送り、洋服や小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払い、収入向上を図る。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 材料を準備・送付し、製作依頼をする。完成品に仕立て代を払う。</li> <li>▪ 完成作品に対して評価を行う。</li> <li>▪ フォローアップ指導を行う。</li> </ul>		
成果	<p>N連のフェーズ2と3で日本人洋裁専門家のアシスタントを務めた Deogratias NDINDIRIYIMANA、ブルゾンのデザインを手がけた Jordan に3種類 28着のお仕立てを依頼した。(ドロップショルダーブラウス 10着、シャツブラウス 8着、ブルゾン 10着) 5月に日本の事務局に送付され、洋裁指導責任者の中島茂代が評価を行い点数化を進行中である。現地コーディネーターである Deogratias NDINDIRIYIMANA を通じて修了生の Jordan にフィードバックする予定である。</p> <p>また、久保さんがルワンダ視察の際に購入したギテンゲバッグ (Josiane 作) に関して、ロコミを通して2人から注文が入った。今後、デザインや販路を考慮し、商品化することも視野に入れる。</p> <p>パターンや指示書、着物地等の必要材料を当会で準備・送付し、製作を依頼し、仕立て代を支払った。返送されてきた完成作品に対して評価を行い、評価結果は2017年実施の短期洋裁訓練時に現地で直接説明し、併せて指導を行った。これまで一律だった奨励金を仕立代として出来栄えによって減額した。</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フェアトレード(1回目)：洋服3アイテム28着</li> </ul>		

### ② ラオス・サバナケート県立職業訓練校とのフェアトレード事業とフォローアップトレーニング

実施期間	年2回(2018年6月、11月に教材発送)		
実施場所	ラオス国サバナケート県 県立職業訓練校洋裁科		
対象者	同校洋裁科の生徒31名、教員5名		
従事者人数	事業従事者36名 国内作業従事者27名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	315,104円 (うち仕立て代:74,600円)		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者および現地教員が、習得した技術を維持・向上させ、安定した収入を得られるよう、当会より材料を送り、洋服や小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払い、彼らの収入向上を図る。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導</li> </ul>		

<b>成果</b>	<p>2007年 外務省日本 NGO 連携無償資金協力を受け、サバナケート県立職業技術訓練校に洋裁科を設立。3年に渡り同校で洋裁技術指導事業を実施し2010年1月に事業を終了した。その後、訓練生らが習得した洋裁技術の維持向上のために、同校とフェアトレード形式の指導を継続しており、本年度も実施。</p> <p>パターンや指示書、着物地等の必要材料を当会で準備・送付し、製作依頼。その後、返送されてきた完成作品に対して洋裁指導責任者の評価を行い、評価結果をフィードバックすると同時に評価に応じて仕立て金を支払った。ラオス人の内藤ケンペット氏に職業訓練所に指示書及び電話連絡を依頼している。</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <p>(a) 第一回フェアトレードの結果 リボン・ウェア 24着のうち合格 19着、不合格 5、手芸品 212個のうち合格 190、不合格 22</p> <p>(b) 第二回フェアトレードの結果 リボン・ウェア 38着のうち合格 20着、不合格 18着、手芸品 11個のうち合格 4、不合格 7</p> <p>第一回目は比較的好かったが、第二回目は不合格が多数になり、通訳の内藤ケンペットさんを通して理由を聞いたところ、不合格のリボン・ウェアは当会の指導を直接受けていない先生が製作したものであり、また手芸品は新しい生徒に製作させたと回答があった。不合格品を再度学校に送り返し、縫製し直すことにした。</p>
-----------	--

### ③ 東日本大震災被災者とのフェアトレード事業

<b>実施期間</b>	通年		
<b>実施場所</b>	リボン・京都 日本事務局		
<b>対象者</b>	東日本大震災の影響で京都に避難している被災者と帰郷した被災者		
<b>従事者人数</b>	事業従事者2名（京都1名、仙台1名）		
<b>助成金額</b>	-	助成元	-
<b>支出額</b>	155,180円		
<b>事業内容</b>	当会の洋裁技術訓練修了者が、習得した技術を維持・向上させ、安定した収入を得られるよう、洋服や小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払い、彼女らの収入向上を図る。		
<b>指導内容</b>	フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導を実施した。		
<b>成果</b>	<p>2013年～2015年まで東日本大震災の影響で京都に避難している被災者の方を対象とした洋裁ワークショップを実施し、フェアトレード形式の支援に変更した。前記ワークショップ参加者で帰郷した被災者へ仕立てを注文する支援活動も開始した。</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 我妻さん（仙台）に6月と10月の2回</li> <li>▪ 頼さん（京都）に6月の1回</li> </ul>		

#### ④ バザー事業

実施期間	通年 ※下記参照		
実施場所	※下記参照		
対象者	当会支援者および一般消費者		
従事者人数	国内作業従事者 33 名		
助成金額	-	助成元	-
収入額	2,307,430 円		
事業内容	<p>海外現地の洋裁訓練生や訓練修了生が製作した洋服や小物等をチャリティ展示即売会、バザー出店、ネット販売などの形式で販売し、市場で技術習得の成果を問う。収益は、訓練生の奨励金など活動資金に充当する。</p> <p>購買層や売れ筋商品、お客様の声などを参考にした商品開発を心掛け、体型をカバーしたり着心地が楽な緩やかなシルエットの商品を、洋裁責任者の中島茂代を中心に、ファッション雑誌や他ブランドの商品を参考にしながら考案した。</p>		
成果	<p>高島屋京都店（5月）や各種イベントでチャリティ展示即売会を実施。三田村店での販売は祇園祭りセール、クリスマスセールともに前年度と比較して売上が増加した。着物・帯が売上に占める割合が増加しており、これは寄贈された着物を教材として使うものと三田村店で販売するものにきちんと整理し、三田村店に来客する方のニーズに応えることができたためと考えられる。</p> <p>売上総額：2,307,430 円（主な内訳は以下の通り）</p>		

#### <主な売上内訳>

日程	チャリティバザー		バザー以外	
5月	高島屋京都店	427,000 円	三田村店（通常営業）	870,720 円
6月	Great Luck Festival	26,900 円	三田村店（祇園祭セール）	476,900 円
9月	コーヒーコンサート	34,000 円	三田村店（クリスマスセール）	115,300 円
10月	近江神宮バザー	20,500 円	瓢箪(通期)	48,320 円
11月	リノベーションエキスポ	38,500 円		
2月	京都大学ワークショップ	1,440 円		
3月	パシイワ愛知	143,300 円		

### (3) 啓発及び広報事業

#### ① 人材育成事業

実施期間	通年		
実施場所	リボン・京都 日本事務局		
対象者	1名		
従事者人数	事業従事者5名(国内)		
助成金額	-	助成元	-
支出額	16,820円		
事業内容	9月より近畿大学文芸学部文化デザイン学科3年の脇広奈をインターンとして採用している。		
成果	ラオス視察の同行、新しいリーフレットの制作、事務業務の補助等に携わった。ゼミの西野教授と面談し、今後、西野ゼミの後輩でリボン・京都の活動に興味がある学生については、脇さんの卒業後もインターンの受け入れについて協力することを話した。西野ゼミの学生とは、今後学生向けの洋服のデザインの提供などを目指し引き続き協力して活動していく。		

#### ② 広報支援事業

実施期間	2017年4月～2018年3月		
実施場所	リボン・京都 日本事務局他		
対象者	当会支援者および一般市民		
従事者人数	事業担当者2名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	-		
事業内容	<p>2017年度に人材不足のため一度閉鎖したオンラインショップについては、9月よりバッグのみの販売で再開したが、売上はあがっていない(2019年4月にクラッチバック1点の売上有)。リボン・ウエアについても今後オンラインショップでの販売をしたいが、オンラインショップでの販売は写真の映し方が非常に重要であるため、必要に応じてプロの方に依頼するなどきちんと計画を立てて行う。</p> <p>HPやFacebookを利用したイベント発信にはあまり時間をかけることはできなかったが、必要最低限で継続し、2017年度末の当会のページの「いいね!」数が528名から559名に増加するなどわずかながら成果があった。(2019年3月14日現在)</p>		

#### ③ 啓発事業

依頼があった際には講演を中心に啓発活動を行い、ライブイベントや大学など若者が集まる場所にも多く足を運び、当会の活動を広く発信した。

日程	内容	主催
5/27	京都チャリティ・ファンラン	京都チャリティ・ファンラン実行委員会
6/16	トークセッション (Great Luck Festival)	ステディオアフタモード
9/12	ゆうちょ財団助成金事業講演	ゆうちょ財団
10/6	ファッションショーにて事業紹介	近江のおもてなし実行委員会
11/16	講演会	Satya Wacana Christian 大学
2/23,24	ワークショップ、講演	京都大学



④ その他啓発・広報事業（京都チャリティ・ファンラン、支援者対応含む）

実施期間	通年
実施場所	京都府京都市 宝ヶ池公園いこいの森
事業内容	チャリティを目的とした一般の方対象のマラソン大会の運営を NICCO 他 NGO 団体と共に行い、当会事業活動により理解を深めてもらえるよう展示を行った。
成果	例年通りの京都チャリティ・ファンランに加え、大学生や一般の方との対面による交流会や講演の機会を多くいただくこととなり、新たな支援者拡大につながっている。 2018年5月27日(日) 京都チャリティ・ファンラン 参加者数 847名 「第32回京都チャリティ・ファンラン」に参加。実行委員長 久保氏より 400,000 円の寄付金をいただいた。

収入：3,605,582 円

支出：1,105,582 円

寄付金：2,500,000 円（下記の団体に寄付されました）

公益社団法人 日本国際民間協力会	1,200,000 円
特定非営利活動法人 リボーン・京都	400,000 円
KIDs	400,000 円
国境なき医師団	500,000 円

2. その他の事業（三田村店での販売額を含む）

	2016 年度	2017 年度	2018 年度
仕入商品売上	106,210 円	252,864 円	202,600 円
お仕立て	51,000 円	92,000 円	55,000 円
合計	157,210 円	344,864 円	257,600 円

（※2018 年度において、合計のうち 57,000 円は事務所での販売額）

## II. 会務報告

### 1. 会員状況 (2019年3月31日現在)

	2016年度	2017年度	2018年度
正会員	51名	50名	48名
賛助会員	87名	78名	72名
ボランティア会員	10名	9名	10名

### 2. 役員状況 (2019年3月31日現在)

	氏名	常勤／ 非常勤	現職・所属	任期
理事長	小玉昌代	常勤	(特活)リボン・京都 理事長 (社)日本国際民間協力会 理事	2018年6月1日～2020年5月31日
理事	中島茂代	常勤	(特活)リボン・京都 洋裁指導責任者	2018年6月1日～2020年5月31日
理事	小野了代	非常勤	(社)日本国際民間協力会 理事長	2018年6月1日～2020年5月31日
理事	都留良子	非常勤		2018年6月1日～2020年5月31日
理事	渋谷みち子	非常勤		2018年6月1日～2020年5月31日
理事	白井幸則	非常勤	エールコーポレーション株式会社 代表取締役	2018年6月1日～2020年5月31日
理事	奥谷充代	非常勤		2017年6月1日～2019年5月31日
監事	山元直貴	非常勤	公認会計士	2018年6月1日～2020年5月31日

### 3. 職員状況 (2019年3月31日現在)

理事長以外に以下の職員がおります。

	有給専従職員	有給非専従職員 (インターン 含む)	無給専従職員
国内	1名	0名	1名
海外	0名	2名	0名

海外：ラオス有給非専従現地職員：1名      ヨルダン有給非専従現地職員：0名  
ルワンダ有給非専従現地職員：1名

#### 4. 総会および理事会

##### <総会>

###### 2018年度 通常総会

- 日時： 2018年5月29日（火）
- 場所： 認定特定非営利活動法人リボン・京都 会議室
- 出席者： 36名（内26名は委任状出席）
- 審議事項： ① 2017年度 事業報告・会務報告 承認の件  
② 2017年度 決算書類 承認の件  
③ 2018年度 任期満了に伴う役員専任の件  
④ 今年度の活動予定

##### <理事会>

###### 2018年度 第1回理事会

- 日時： 2018年5月14日（月）
- 場所： 認定特定非営利活動法人リボン・京都 日本事務局
- 出席者： 理事6名  
監事1名  
委任状出席1名
- 審議事項： ① 2017年度 事業報告・会務報告 承認の件  
② 2017年度 決算書類 承認の件  
③ 2018年度 通常総会開催 承認の件  
④ 2018年度 任期満了に伴う役員選任の件
- 報告事項： 今年度の活動予定

###### 2018年度 第2回理事会（臨時理事会）

- 日時： 2018年8月21日（月）
- 場所： 認定特定非営利活動法人リボン・京都 日本事務局
- 出席者： 理事7名、監事1名
- 審議事項： 定款変更及びその決議のための総会招集の件

###### 2018年度 第3回理事会

- 日時： 2019年3月18日（月）
- 場所： 認定特定非営利活動法人リボン・京都 日本事務局
- 出席者： 理事6名  
監事1名  
委任状出席1名
- 審議事項： ① 2019年度 事業計画  
② 2019年度 予算案
- 報告事項： 2018年度事業状況と決算見込み

## 5. 会誌発行

「News! 甦 vol. 31」 発行：2018年7月6日

- 内容：
- 洋裁技術訓練の今後の展望（小玉理事長）
  - 基礎を学ぶ大切さ（中島先生）
  - ルワンダ短期研修を終えて
  - 約30年間ボランティアを続ける馬場真理子さんにインタビュー
  - Great Luck Festivalに出展しました
  - 祇園祭セールのお知らせ
  - チャリティバザーのご報告
  - 2017年度活動計算書

「News! 甦 vol. 32」 発行：2018年12月14日

- 内容：
- サバナケート職業訓練校の視察を終えて（小玉理事長）
  - 技術指導で思うこと（中島先生）
  - ラオスを視察して（インターン脇さん）
  - インドネシアより研修訪問
  - ファッションショーで紹介
  - パリでリボン・ウエア販売開始
  - チャリティバザーに売上ご報告
  - 三田村店クリスマスセールのお知らせ

以上